

『第2回砂川市庁舎整備検討委員会』会議録

日 時 平成 27 年 9 月 18 日（金） 15:00

場 所 砂川市役所 3 階大会議室

出席者

- ・砂川市庁舎整備検討委員会委員 13 名 （欠席委員～3 名）

- ・事務局 湯浅 総務部長 安原 市長公室課長 齊藤 市長公室課長補佐
徳永 建築住宅課長補佐 金泉 土木課長補佐 阪口 市長公室課主事

1. 開 会

2. 報 告

委員長 ～ 皆様、大変ご苦労様です。前回に引続きまして、委員の皆様には大変お忙しい中お集まりいただきまして、心から感謝申し上げます。本日につきましても皆様方には、どうぞ遠慮なく、色々な意見を出して頂きたい、このように考えているところがございますので、どうかひとつ宜しく御願いをしたいと思います。早速ではございますが、本日の意見交換に入ります前に、前回の会議で出された質問がありますので、それに対する事務局の説明を求めます。

※ 事務局より別紙資料 4 に基づき説明。

委員長 ～ はい、それでは、質問された委員は欠席されていますが、只今の説明について何か質疑はございますでしょうか。特に無ければ、本日の意見交換に入らせて頂きたいと思います。

3. 意見交換

委員長 ～ それでは意見交換に入りますが、その前に、事務局より提案がありますのでお聞きしたいと思います。

※ 事務局より別紙資料 5 に基づき今後の本委員会の進行方法、内容について提案説明。

委員長 ～ はい、それでは只今事務局から、今後の進め方についての提案をお聞きしたところではありますが、ある程度テーマを絞って、皆様のご意見をお聞きしていきたい、そういった方法で、より多くのご意見をお聞きしていきたい、という提案になるかと思えます。このことについて、皆様から何かご意見はございますでしょうか。宜しいでしょうか。宜しければ本日はまず「現状維持」という考え方について、皆様のご意見をお聞きしたいと思えますので宜しく御願います。

委員 ～ 現状維持、という考え方ですね。まあそういう考え方で行きますと、この会議の意味が無くなってしまふのかな、という気もしますが。建替、ということで市にも要望を出した立場でございますので、その辺から行きますと、例えば、お年寄りの方が市民生活課の窓口へ行くこと一つとっても大変である。それからメインの会議室、大会議室へ行くのにも3階まで階段で昇るのが大変である。いつもお年寄りの方が階段を昇りながら、辛そうにしているのを見かけます。やはり、何とかしなければならぬ、と思うのですが、それが改修という方法が良いのか、或いは思い切って新築、という方法が良いのか、いずれにしても自分の立場としてはそういった方向で進めていってほしい、と考えます。それから、特に夏場に役所に来ますと感ずるのですが、非常に暑い、劣悪な環境で皆さんお仕事をされている。冷房設備無しですからね。非常に厳しい環境におかれている。そういう部分から見てもですね、或いは又、防災の拠点にもなるこの建物の耐震強度が低い、こういった点もありますし、少なくとも改修、ということは必要になってくるのではないかと、こういう風に考えるところであります。

委員長 ～ はい、只今のご意見であります、日頃市役所を利用される立場からの御意見であったかな、と思えます。他にございますか。

委員 ～ 前回の会議で、この市役所は築50年というように聞いたのですが、この市役所をデザインしたのが、建築デザイナーである私の知人のご家族である、ということも10年ほど前に聞きまして、そのときはすごく感動していたのです。素晴らしい物を作って頂いたのだ、と感動していたのですが、それから50年が経過して今日に至っているわけですね。前回の会議を終えてから、自分の団体でその内容を報告しまして、市役所の中を会員の皆様もよく見ておりました、現状がよく分かっているのです。それで自分の団体では、現状維持という考え方を通り越しまして、第3回目のテーマに出ています建替、という考え方に大きく傾いております。

委員長 ～ はい。尚、皆様のご意見につきましては、事務局の方で記録をとりまして、

後ほど皆様のお名前は出さない、という形で公開することとなっておりますので、是非皆様ご遠慮なくご発言頂ければ、と思います。

委員 ～ 私もち帰って報告しました。先程もありましたが、この建物を新築した時の経緯、というものを私も聞いたのですが、私が聞いたのは、元々この建物は公共の物を作る前提ではなく、あるホテルをモデルにして作った、というような話でした。そういう訳で、前の方とか通路とか、そういう風な作りになっている、ということでした。ですので、見栄えは良いのですが、機能的にはどうか、ということなのですね。特にこういう時代ですから、障害者の方が利用するにも、車椅子の方の為に、あのような立派なスロープを作って頂いたりしているのですが、あの彫刻の前のところですね。見栄えは良いのですが、実際使うと大変なことになる。誰かが押してくれないととても上りきれない。そういうことで使い勝手は非常に悪い。そういう意見が会員からも聞かれました。市民生活課の窓口へ行って手続き一つするのも大変である。こういう話は前々から聞いておまして、もし現状維持ということであれば、少なくともエレベーターですとか、それ位は付けて頂きたいと思うのですが、そうすると今度は付ける場所が無い、というような話になってきて、以前も市長さんに相談したのですが、実際はなかなか難しい、というようなお話をされていまして。それで、事務局からのお話の中でも修理のことに触れていましたが、修理にかかる経費を10年間くらいで平均してみますと大体年間400万円くらいかかっている。耐用年数が60年くらいということですので、あと12年くらいですか。これからもここが壊れた、あそこが壊れた、とますます修理費用は増えていくのではないかと。特にデメリットという点でいきますと、自分も後期高齢者の年代になっているのですが、障害者という立場でもやはりつらいですね。公共の建物というのは、やはり利用者が気軽に来られる物でなくてはならないと思います。最近国勢調査もインターネットで回答できるようになって、私もやってきましたが、そういう機能といった部分では、だんだんとスペースは必要無くなって行くのかな。ただしコンピュータなどの機械は野ざらしで置いておく訳には行かないでしょうから、ちゃんと温度管理とかしなければ、それこそ皆様の重要なデータを守らなければならないのですから、きちんと場所を確保しなければならない。そういう場所はこれから増えていくのでないか。そういうバックアップ体制を確保していかなければならないのに、修理代を掛けていて良いのか。今後も年間400万円位で済むものか、こうやって考えていくと、現状維持のメリットというのはあまり無いのかな。その辺も踏まえて、うちの会員は早く新しい建物を作って欲しい、という意見が多かったですね。安全対策という面でも、最近河川の氾濫があって大きな被害を受けた地域もありましたが、災害はいつ起こるかわからない。この市役所も低い位置にあるので、いざ水

害になったら全然身動きが取れない、という事態になりかねない。出来るだけ早くちゃんとした建物を作って欲しい。そういう風に思います。

委員 ～ 現状維持、という考え方ですが、今のままにしておけば、お金を他の事にまわせるのではないか、他の事に使えるのではないか、という風な考えになるのかな、と思うのですが、私はそうは思わないのです。市役所を建てないからといって、その分のお金でどんどん別な事業をできるとは思わないのです。それから現状のこの市役所の庁舎については、高齢者や障害者の方だけでなく、我々、と言ってももう高齢者ですが、我々も市役所に来て何か相談をしようと思っても、入って行って良いのか、どうもわからない。受付とかきちんとしていてどこが窓口か分かりやすければ良いのだけど、誰々さん居ますか、といちいち聞きながら入っていかなくてはならない。こういったところも是非改善してもらいたいんだけど、それは現状維持という方法ではなかなか難しいのかな、と思います。あと、現状維持ということでも修理代はこれからもかかるわけですし、少なくとも耐震化工事だけはしなくてはならないのではないかと、思います。そういう風に考えて行くと、現状維持という選択肢はなかなか難しいのかな、と思います。

委員 ～ この庁舎が出来た時は、市民にとっては素晴らしい庁舎でした。正面玄関には十何段もあるような素晴らしい階段があるし、庁舎と庁舎の間に車が通れる、普通見たことも無いような作りになっている。それは大変素晴らしい作りだったのです。それが既に48年ですか、時間が経過して、当時のメリットは既にデメリットになってしまいました。バリアフリーの関係ですとか、前回も色々見せて頂きましたが、内装も外装も劣化しており、設備も劣化しているし、修理代もかかっている。現状維持するにしても、改修するにしても、今の作りのままでは市民にとっては非常に使いづらい庁舎だと思います。ですので、建替、という考えでいかないと、ただ話が長くなるだけで、最初からどんな庁舎を作るべきか、という話をしなくてはならないのではないかと、思います。現状維持とか部分改修とかの話も良いですけど、ただそういう話も一応聞きましたよ、というようなジェスチャーになるだけの様な気がします。防災の面から見ても、電気室とかボイラー室とか、そういうのが地下にあるのですね。市役所が防災対策の拠点になるのであれば、水害でも起きたらたちまち機能しなくなるのではないかと、思います。こうやって考えると、現状維持とか改修とかは全然お話にならないのではないかと、思います。前回お聞きしました耐用年数からしてもあと何年も無いわけですし、庁舎の整備を実現するには、他の町の状況を見ても大体5年位はかかっているのですね。その辺も考えると、今やらなければ手遅れになると思います。高齢者の方も障害者の方も居る中で、このような使いづらい庁舎は他に無いと思います。本

来、市民の方が利用する窓口はワンフロアの中になければならないのですね。どどここの課になるのか分かりませんが、教育委員会とか衛生係とか保健師さんとか同じフロアに居るべきだと思うのですね。そういうのがあちこち分散している状況を考えますと、改修というより建替という方向に早めに持って行って、こんな庁舎にしたら良い、ですとかそういう意見をお聞きした方が良いのではないかと、思います。

委員長 ～ はい、他にございますか。皆様遠慮せずにバリバリ言って下さい。

委員 ～ 私はたまたま先週、全道の関係団体の集まりで恵庭に行ってきましたが、そこにはコンパクトな市役所の隣に市民ホールがありました。こんな建物もあるのだな、と感心しました。市役所の建物もあまり大きくないのですね。駐車場もここより広くないかもしれない。4階も5階もあるわけではない。砂川よりはるかに人口は多いはずですが、これで十分に機能しているのだな、と思って見て来ました。やはり修理費をこれから何年もどんどんかけて維持していくよりもコンパクトな建物を新しく作った方が良いと思います。新築すると維持費も大きくなると思いますが、太陽光とかそういうものを利用すれば、売るほどではないにしても維持は出来るでしょうし、災害時にも対応できるのでないか。そういう風に考えますと、現状維持とかそういうことで意見を聴いていても無駄なように思うのですが。改修してやっていくというのであれば維持費のもっと詳しい資料もあったほうが良いのかな、と思います。

委員長 ～ はい。割と年配の委員さんからの意見が多いような気もしますが、若い方の意見も是非お聞きしたいと思います。

委員 ～ 前回の資料にありました、来庁頻度の低下という要因もあるとは思いますが、ただ、窓口サービスというものが無くなるというわけではありませんので、やはり、先輩方がおっしゃられたように、バリアフリーで、利用しやすくなるような環境、というのは必要になってくると思います。それと働いている職員のことを考えますと、これまでの説明を聞きましても、防水の話からしても、例えば壁の中はカビでひどいのではないかと、ですとか、アスベストも一部で使われている、という問題もありますし、労働条件としてかなり悪いのではないかと、思います。市の説明でも、市民の方が使う施設を優先的に直して行って、最終的に残ったのが市庁舎である、ということでしたが、その中に居る職員の環境というものを考えてもかなり悪いものであると思いますので、その辺も考えますと、先程から言われているように、現状維持ということを考えるよりも、もう少し建設的な話をした方が良いのかな、と思

います。

委員 ～ 自分も砂川に住んで30年くらいになりますが、しばらく東京の方にも行ってきました。帰って来て思ったのは、やはり懐かしく思うのは古い建物で、見ると故郷に戻ってきたな、と思いました。病院のところにも昔、市民会館があつたりしましたよね。例えば京都の市役所などは築100年以上の古い建物を使っているのですね。それこそ街の遺産になっています。やはり建築というのは街の遺産になり得る物ですし、もちろん新築のピカピカの物が良いのは当然のことですけど、今の時代に同じ物を作れと言われても、それこそ建築デザイナーの腕次第かもしれませんが、全くゼロにしてしまうのもやっぱり悲しいかな、という気持ちもあるのです。玄関のところの彫刻とかを見ても砂川市はなんでこんな彫刻をこんなところに置いてあるのだろうとか見直してしまったりします。ただやはり、エレベーターが無いとか、車椅子の方はどうやって向こう側の庁舎へ渡るのだろう、何で階段を昇って降りて行かないと行けないのだろうとか考えますと、やはり改修とか新築とかなければならないのかな。無くなってしまうのは寂しい気もしますが、このままでは不安だなと思います。

委員長 ～ はい、ありがとうございます。何度か話題に出ておりますが、私の記憶からすると、この庁舎が出来た時は山口市長さんの時代でした。皆様のご記憶にもあろうかと思いますが、この方、非常にまちづくりに熱心な方で、特に病院など非常に重視しておりました。その病院が現在に繋がっている、という話題すら残っております。それ位の人でした。昔、妹背牛かどこかの村長でしたか。納内でしたね。深川と合併するという事で、その方をこちらにお呼びしたということでした。当時は他市町村、近隣市町村から、それこそ皆様見学に訪れた、という位の素晴らしい庁舎だったのです。それこそ委員さん言われるように、記念に残しておきたい、という位の物でして、山口さんが生きておられたら、お前たち何を考えているんだ、と怒られるかもしれない、そういう庁舎だったのです。それが、たまたま自分が市役所に来ていた時に、何年のことかもう忘れましたが、地震が発生したのですね。それで自信を無くしたんですよ。何かこう、揺れ方がね、積み木の揺れ方をしたのですよ。カタカタカタという感じでね、パタパタと倒れてしまいそうな、そんな揺れ方をしたのです。それでああ、あまり良い建物ではないのかな、と個人的にはそんな意識がございます。それでは他にご意見御座いませんか。本日はテーマを絞ってお聞きしておりますが、市長さんも建てないと言ってる訳ではありません。その前に皆様から色々な意見をお聞きしたいということですから、先程から新築した方が良いという意見も多いようですが、そのことにこだわらずご意見を言って頂ければと思います。それでは現状維持というテーマにつきましてはこれ位にしまして、次の改修というテーマに移りたいと思いますが宜しいでしょうか。

委員 ～ 改修と言いましても、やはり耐震性の問題が大きいのではないかと思います。前回の話を聞きまして、耐震性がすごく低いのでビックリしたのですが、実際、耐震改修するとなるとどれ位費用がかかるのでしょうか。今、公民館で工事していますが、あれでどれ位の費用なのですか。

事務局 ～ 公民館の工事は、耐震改修の工事と、内装の改修、それと一部設備の改修も同時に行っております。全体では5億ちょっと位かかっておりまして、その内耐震に関わる補強工事の部分は、大体1億5千万円位、ちょっと細かい数字は今お答えできないのですが、大体それ位になります。前回の報告の時にも触れましたが、この庁舎を耐震改修するとなると、公民館と同じ程度の補強をするとなると、この庁舎は公民館に比べて構造的に複雑になっています。半地下になっていたり、向こう側の庁舎は天井が高いですとか、そういう作りになっているので、公民館と同程度の補強をするとしても、費用は大きくなることが予想されます。

委員長 ～ はい。そうするとその先もちょっと聞きたくなりますよね。新しく建てたらどれ位かかるのか、という話も聞きたくなりますかね。私も思うのですが、あくまで一般論ですが、東北大震災のように震度7とかそれ以上の地震が起きたらとてももたない。地域が皆震災で大変なのに市役所が先に潰れて、職員が救いに行くこともできない、何も出来ない。そういう噂も実際聞いているのです。聞いている側に立って話すと、やはり早く新しく作った方が良いのではないかという話になってしまうのですが、それは又別にしてですね、先程の話にもありましたが、行政は行政として、物事を進めるのにそう単純には行かないのだと、そういう前提で話を進めておりますので、その辺を今一度御理解頂いて、それぞれの立場からご意見をお聞かせ願いたいと思います。

委員 ～ ちょっとお聞きしたいことがありまして、全然分からないものですかからお聞きするのですが、この改修工事の場合、費用が多少安くなる場合もある、ということですが、改修工事だと新築の3割程度で済む、という話もあるようですが、8割とか9割とかそれ位かかって、それで寿命も短いというのであれば、それはちょっとどうなのか、と思うのですが、その辺のところはどうなのでしょうかね。3割程度で済む、というのでしたら同意する方も出てくるのでしょうか、8割程度で寿命も短い、となれば誰も賛成しないのじゃないかな、と思うのです。その辺のところ、概算でも出るのでしょうかね。ざっくりでも出ると、考え方もちょっと変わってくるのかなと思いますけど。

事務局 ～ ざっくりとしたお話しかできないのですが、一般的に建物を改修する場合に例えば、骨組みだけ残して、柱とか梁とか、主要な部分だけ残して、窓とか壁

とかを改修するような工事の場合、安くて新築の 8 割程度かかると言われております。

委員長 ～ それと併せて、改修した後は新築と同じくらいもつのですか。

事務局 ～ それも建物の状況によります。この建物でどの程度もつのか、ということになりますと、あくまで目安になりますが、耐震診断しているのが平成 8 年で、その時に劣化状況を調べているのですが、それから約 20 年が経過しております。前回の資料でも提示しましたが、コンクリートの寿命が大体 50 年から 80 年、代表的なのが 60 年と言われていています。80 年としても、実際は劣化の状況によりそこまではもたないのかな、と考えます。

委員 ～ 私の会では早く新築して欲しい、といった意見ばかりでした。

副委員長 ～ 今ほど事務局からありました骨組みだけ残して改修する場合、ということですが、そうなる则部分的改修ではなく大改修、全面改修ということですね。その時の工事費用が概ね新築の 8 割程度になるということですね。

事務局 ～ はい、そういうことになります。

委員 ～ ただですね、新築の 8 割程度で改修し終わったあとに何年くらいもつのかということにつきまして、ここは大丈夫だろうと残した部分がどうなのか。朽ち果てた土台の上に新しいものを乗せても、後で下だけ直すわけにもいかない。土台がきちんとしていないと、ここには専門家の方もたくさんいらっしゃいますが、素人考えでもそういう建て方はまずいのではないか。軽い物ならまだ良いですよ、木造とか。でもコンクリートで作る物、ものすごく重量のある物を残した土台に乗せて果たしてどうなのか。その辺が心配ですね。

委員 ～ 公民館の耐震工事が 5 億ほどということですが、前回いただいた資料の中で他の市町村の実例がありましたが、規模的には岩内町が参考になるのかな、と思いますが、これで約 20 億、8 割かけて改修したとして 16 億。ということになるのでしょうかね。

委員 ～ この間のオリンピックの建物の話でもありましたが、デザインによって大きく変わってくるのでしょうかね。あの柱一本でもものすごくかかっているのでしょうか。デザインによっては耐震強度にもものすごくお金がかかってくるのでしょうかね。ですから機能面を重視すればまた変わってくるのでしょうかね、そのデザインによって耐震性の程度も変わってくるのではないのでしょうか。

事務局 ～ 金額の話でちょっと追加させていただきます。公民館の場合、全面改修か部分改修か、という判断になりますと、部分改修ということになります。先程、全面改修の例で8割程度、という話をしましたが、公民館の場合も、窓を断熱性の高い物に変えるですとか、壁も断熱性の高い物に変えるですとか、屋上の防水も全部きれいにやり直すですとか、そういうものを全部含めた場合は全面改修ということになりますが、実際にはそういうものを含めない部分改修工事ということで先程の金額になっております。

委員 ～ なんぼ改修してもですね、市民の使いづらさというのは解決しないと思うのですよ。特に半地下になっているところにボイラー室も電気室もある状態ですよ。今はパソコンの時代になっているのでデータの保存とか書類の保存とか非常に重要になっていると思うのです。災害時にも発電機の設備が無いなどというのは当然ありえないと思うのですよね。電気がダメになったら市の機能というのはほとんどダメになってしまうのではないのでしょうか。だからいくら改修しても、市民の使いづらさというのは残ったままになると思うのです。

委員 ～ その辺を議論しても堂々巡りになるような気がします。

委員 ～ 先程言いましたのは、公民館の改修で5億位かかっているというのはこの庁舎の場合、そのまま当てはまるのかな、ということなのですが。

委員 ～ この庁舎は公民館に比べて遥かに年数が経過しておりますので単純に比較は出来ないのではないのでしょうか。

委員 ～ あそこは作りが断然単純ですからそれ位で済んだのではないのでしょうか。

委員 ～ そうですよ。あそこで5億、岩内町で20億、と見ましても、この庁舎の場合、新築の8割では到底済まないのではないかと思うのですが。

委員 ～ この建物は作りが複雑ですから、いくら改修をかけても市民が使いづらいことには変わりないと思います。土木とか建築とか水道とか全部別の場所になっていますでしょ。こちらに用事があって次に向こうに用事があると又一度昇って降りてしないと行けない。これは大変ですよ。やはり今はワンフロアのバリアフリーでなければいけないですよ。それと年寄りが多いでしょ。市役所に来るといきなりあの十何段の階段を昇らなければならない。あれ位でも昇るのが結構大変なお年寄りを私も何度も見て来ました。会議の時もここの会場まで昇って来なくてはならない。途中で何度も休みながら昇ってきていますよ。やはりエレベーターくらい無くては。

委員長 ～ はい、いろいろ貴重なご意見を頂いておりますが、本日はあくまでも現状維持と改修ということでテーマを絞っておりますので、その辺のところでご意見を頂ければ、と思います

委員 ～ ちょっと話を元に戻すようですが、揚げ足をとるわけではないのですが、以前、市議会で検討されているのですよね。議員さんから質問があって、市の方では検討しています、という回答をしているのですよ。というのは防災計画とかいろいろあって市の方でも検討しています、というお話をされているのです。それともう一つあって、バリアフリーとかいろいろなことがあって、今の市庁舎をそのまま使うのは無理です、という回答をしているのですよ。それを考えますと、現状維持とか改修とかの意見を何で又聴かなければならないのかな、という思いもあるのですが。それで、ざっくばらんに市の方で、こういうことで検討しておりますがどう思われますか、違う意見はありますか、というようなことであれば、又意見も出てくるのか、と思いますが、全然考えてもいない現状維持とか改修とかの意見を求められてもなかなか出しづらいと思うのです。話を戻すつもりも無いのですが、ちょっとどうなのかなと思うのです。

事務局 ～ 今お話のありました、議会の中で庁舎の改築についての質問があったときの答弁の内容としまして、総務部長を中心とする職員で、内部で、庁舎を建設すると考えるなら、どのような物が考えられるのか、ということをして2年間くらいかけて検討してきた経過がございます。それとは別に市長の方から、市民の皆様が実際どのように考えておられるのか、それを聞く機会としてこの会議を設けた、ということがございます。それともう一点は、私ももう砂川に住んで50数年になりますけど、就職するまで市役所というところに来たこともなかった。市民の方のいくらかの割合の方は市役所に来たこともないのではないかと、思われます。そのような方が、実際市役所を建替える、ということについてどのように考えられるのか、私たちもなかなか理解できない部分でありまして、私共も市役所の中におりますと、先程委員さんからもありましたが、階段を昇るのも大変だ、という状況はよく把握しておりますので、建物としては必用だ、という考え方もあるのですが、もしかいたしますと本日の現状維持という考え方につきまして、先程もありましたけど、経費をかけずに他の事にお金をかけたほうが良いのではないかと、そういうご意見ももしかしたらあるのかな、という思いもありまして、このような進め方をしております。ですが先程からお聞きしておりますと、皆様の団体にお持ち帰り頂いてお話を頂くと、やはり全体的に、建替え、という話が多いようでございますが、今で言いますと費用もかかる話でありますので、それはどうなのかな、という意見もありましたらお聞かせ願いたい、ということで進めているところでございます。

委員 ～ 改修という話の件で、皆様が大体おっしゃられたことが全てなのかな、という気もします。改修となりますと、全面改修なのか部分改修なのか、階段だけ直すのか、というような話になるのかと思いますが、予算の話につきましても、先程、新築の8割程度ということでしたが、改修も技術的に非常に進歩しておりまして、新築と変わらない改修も出来るようです。そういう方法も出来ると思うのですが、これだけ古い建物ですから、例えば部分的に改修を行った場合、新たに改修の必要な部分が見つかる、というような心配もあるでしょうから、皆様のご意見の通り、なかなか部分改修というのはどうなのかな、と思います。そのように考えますと、やはり新築という選択肢が良いのかな、という思いでございます。

委員 ～ 改修ということで無理繰り意見を申し上げますと、以前は南の方に支所がありまして、こちらまで来れない時にはそちらを利用していました。今は支所もありませんし、その支所の内容は、生まれた、亡くなった、というような簡単な手続きだけだったかな、というように記憶しておりますが、その支所もない。こうやって何階も昇ってくるのは、私自身も大変です。そういう思いで、改修というのを飛び越えて、新築を希望するところであります。

委員長 ～ 他に何かございますでしょうか。

委員 ～ 大体意見は出尽くしたようにも思うのですが、まあ、自分の団体としましては、他の団体さんが2年も前から建替えということで要望されているわけですから、反対するはずがないのです。以上です。

委員 ～ 単純な疑問なのですが、改修して直すのと取り壊して建てるのでは工事のやりかたも違うと思うのですが、他に被害を及ぼさないように改修するとその分余計に手間が掛かるのかな、という気がします。他に影響が出ないようにはつっていきますと、かえって余計な手間と時間がかかるのかなと思います。自分の家で改修した時も随分手間が掛かって大変な思いをしました。ましてこれだけの建物ですから、使いながら改修なんてことになると業者も神経を使って大変じゃないかなと思います。

委員長 ～ この辺で一旦休憩を取りまして又再開したいと思います。

※10分間休憩

委員長 ～ それでは会議を再開いたします。引き続きご意見を頂戴したいと思います。大体意見は出たのかな、とは思いますが、ご案内のように改修しても補

修しても、いずれにしてもかなりのお金はかかるのかな、というところがございます。諸々のことを勘案しましてもどうせやるなら新築するのが一番良いのかな、というのが大方の皆様の御意見なのかな、というように感じておりますが、そのような見解で間違い御座いませんでしょうか。

委員 ～ あの、ひとつだけ思い出したのですが、家はちょこちょこ触ってもあまり良くならないのだよ、やるときはスパッと建替えるまで待ってやらなきゃダメだよ、と爺さんが言っていたのを思い出しました。

委員長 ～ まあそういうわけで、本日はこういうテーマを頂いてご意見をお聞きしてきたわけですが、私の個人的な見解で述べさせてもらって宜しいでしょうか。一つしかないように思うのです。それは今申し上げたように、新しく作ってくださいよ、という意見が強いのだと思います。そのように理解させてもらって宜しいでしょうか。宜しければこの場のまとめ役として、そのように受け止めさせていただきます。それではその辺を踏まえまして、今後の進め方につきまして事務局から考えを聞かせてもらいたいと思います。

事務局 ～ 冒頭御説明申し上げましたが、一応、今回は改築と既存公共建築物の活用という二つのテーマで意見を伺おうと考えておりましたが、やはりお聞きしておりますと、改築という部分でかなりご意見がありそうに思われますので、既存公共建築物の活用という部分でご意見があればやぶさかではありませんが、メインとしては改築をテーマにして次回ご意見をお聞きすることでおはかりしたいと思います。

委員長 ～ 今ほどの事務局からの提案ですが、宜しいでしょうか。宜しければそのように進めてまいりたいと思います。他に何か事務局からありますか。

事務局 ～ それでは次回、改築をテーマに進めたいと思いますが、それについて何か他に資料が必要でしたら、可能な限りご用意いたしますので、出来ましたら今の時点でお知らせ願いたいと思います。

委員 ～ すいません、一つだけ宜しいでしょうか。一番最初に御説明頂いた省エネの部分で、どうしても理解できないところがありまして、建物が新しくなると、断熱とかの性能も上がるでしょうし、もっと数値が良くなるのではないかと、という気がするのですが、これによりますと、今よりも倍以上の光熱水費が発生する計算になるのはどうしてなのでしょう。

事務局 ～ 例えばこの建物で、何か足りない物、という物を考えた時に、まず空調設備がありません。換気したり、湿度やそういったものを調整する設備がありません。これは、新しい建物になればついている設備で、この空調設備を動かす為に油を炊くのですね。ですので今の建物ですと、その油を炊く設備も無い。新しい建物にはそういった設備も必要になるので、その分消費するエネルギーも大きくなる。これは一つの例ですけど、そういった理由で新しい建物はエネルギー消費量が多くなるのです。又、水の話で言いますと、現在の庁舎のトイレは、上の方にタンクが有、そこに水をチョロチョロ流して、一定量になれば流す、という仕組みになっています。最近のトイレは使う都度ザッと流れる。今の設備の方が水の使用量は少ないのですが、トイレの場合使う都度流さないと便器や配管が傷みやすくなる。最近のトイレだと清掃も含めて水の使用量は多くなる訳です。このように色々設備が新しくなることで、消費するエネルギー量も比例して多くなる。その為、冒頭御説明したように新しい建物の方が消費エネルギーの数値が大きくなる計算になるのです。

委員長 ～ その他は特にございませんか。

委員 ～ まあ、改修でも良いのですが、やはり工事が出ないといけないと思いますので、一番良いのは移転して新築でしょうね。やはり皆様の意見を聴いていますと、改修ということになると、どうしても現在の平面図がそのまま残ってしまう。そうすると、建物的には強度が増えても、使い勝手という点ではどれ位変わるのだろう、という疑問があります。どなたかが言われましたが、市民生活課から水道課といった流れ、いわゆる動線が悪い。新しい建物を作る場合は使い勝手もそうだし、新しい機能を実現するスペースも当然必要になってくる。そうすると、今ある建物を使うより、新しく組み立てた方が絶対良いと思います。

委員長 ～ 建物に対するお考えは大体分かってきたのですが、もう一つ重要な事として、場所に関する問題があると思います。この場所、という点についてはご意見ございますか。

委員 ～ 場所については、昔から役所に関するいろいろな議論があるのですが、やはり町場の方に来て欲しいという意見もありまして、病院が出来たのでちょっと近くなったような気もするのですが、もっともっと町の中心部にあると、買物がてらに寄るですとか、そういった意味で少しでも中心市街地にあると良いのかな、という情報はあります。ただ、市の所有地がどこにあるのか、良い場所があれば、その辺がちょっと良く分からないものですから。

- 委員長 ～ 駐車場の問題もありますね。かなり広いスペースが必用になってくるでしょうから。他にございますか。
- 委員 ～ 交通事情から言っても、ここはバス停も近いし、駅も近いし、公共施設も集まっているので、この場所にあるのが本当は良いのかな、と私は思います。市役所がある、ということで地価もかなり変わってきているのではないかと、思います。それを今度例えば焼山にもって行きましょう、ということになったら、高齢者の方ほうんとは言わないでしょうね。もしこの辺で建てるとすれば中央小学校の跡地かな、と、思いますけど。あそこにしてもやはり交通事情がどうか、という部分がありますので、やはりここが一番ベストかな、と、思いますね。ただ、建替えるとなると、工事の間、どこかへ移らなくてはなりませんよね。工事中は市役所はお休みです、ということにもならないでしょうから。その場所の確保もどうなるんでしょうかね。
- 委員 ～ 面積ですが、今の庁舎の面積くらいになるのか、もうちょっとゆったりした面積を確保するのか、それによって大分違ってくると思いますね。だけど水道とかある方の庁舎もあれだけ2階まで天井になっているような作りだから、ああいうのが無ければもっとコンパクトにまとめられるような気もするのですが。ですので、面積は今よりコンパクトにまとめられた物を作られる場所が町なかに果たしてあるのかな、というところですね。ただ、そういった話はこれから役所の方が一生懸命考えるでしょうから、我々がそこまで難しいことを考える必要も無いのかな。我々市民としては、バス停も近い、駅も近い、病院も近い、こういう場所が利用価値が高いのかな、と、思いますね。
- 委員長 ～ 広い面積を取らないで、今の庁舎は3階建てですけど、例えば5階6階として、今みたいに別庁舎みたいな作りにしないで、上に伸ばす、というやり方もあるでしょうね。
- 委員 ～ 砂川にも優秀な設計士の方はいろいろいらっしゃるでしょうからね。
- 委員 ～ 先程もちよつと言ったのですが、本来、市の庁舎の中に入ってなければならない、と言いますか、入っていた方が便利な部署ですね。それが今、どこにどう分散しているのか分かるような資料があると良いですね。
- 事務局 ～ 市役所に無い部署、ふれあいセンターとかそういう部署のことですね。
- 委員 ～ そうですね。

- 委員長 ～ 本日はこれ位で宜しいでしょうかね。事務局から何かありますか。
- 事務局 ～ それでは、次回の第3回の会議の日程ですが、10月16日金曜日の午後3時に開催したいと思います。委員の皆様には改めて通知をお送りいたします。宜しく御出席下さいます様御願い致します。
- 委員 ～ あの、できればですね、皆様のご都合もあるのでしょうか、自分としては夜間開催の方が助かるのですが。取り合えず次回は大丈夫です。
- 委員長 ～ それでは、いろいろご意見を頂きましたが次回につきましては只今の日程で開催いたします。事務局の方でまた必要な資料を用意すると思いますので、次回も忌憚の無いご意見を頂きたいと思います。やはり市民に愛される庁舎というものを考えていかなければなりませんので次回もまた宜しく御願いしたいと思います。特に無ければこれで本日は終了したいと思います。皆様どうもお疲れ様でした。

5. 閉 会 (16:36 終了)